

令和6年・7年度 東京都教育委員会人権尊重教育推進校
令和6年・7年度 豊島区教育委員会研究開発指定校

< 研究主題 >

「自他を認め、関わり合うことができる児童の育成」 ～ 学び合いを通して ～



校長挨拶

豊島区立要小学校 校長 渡部 貴美子

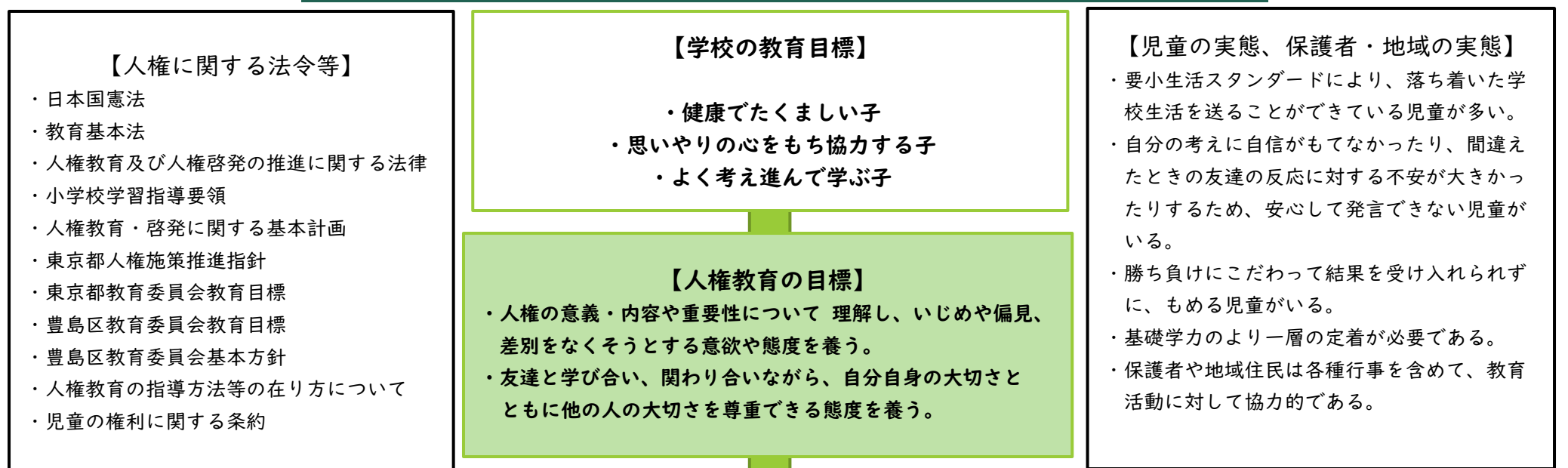
本校は、令和6年・7年度東京都教育委員会人権尊重教育推進校の指定を受け、「自他を認め、関わり合うことができる児童の育成～学び合いを通して～」を主題として研究に取り組んでいます。今年度は、「人権教育プログラム(学校教育編)(令和6年3月)」を基に、人権教育を推進するための基本的な考えを共通理解することから始め、年7回の研究授業を行いました。また、研修会や日々の教育活動を見直す中で教職員も人権感覚を高め、児童一人一人を大切にしている教育実践を積み重ねてまいりました。これらの実践を通して、互いの考えを尊重し学び合い、関わり合う中で、自他を認め合い共によりよく生きようとする児童の育成を目指してまいります。

今年度の取組と成果をここにまとめさせていただきました。御高覧の上、御指導・御助言をいただければ幸いです。

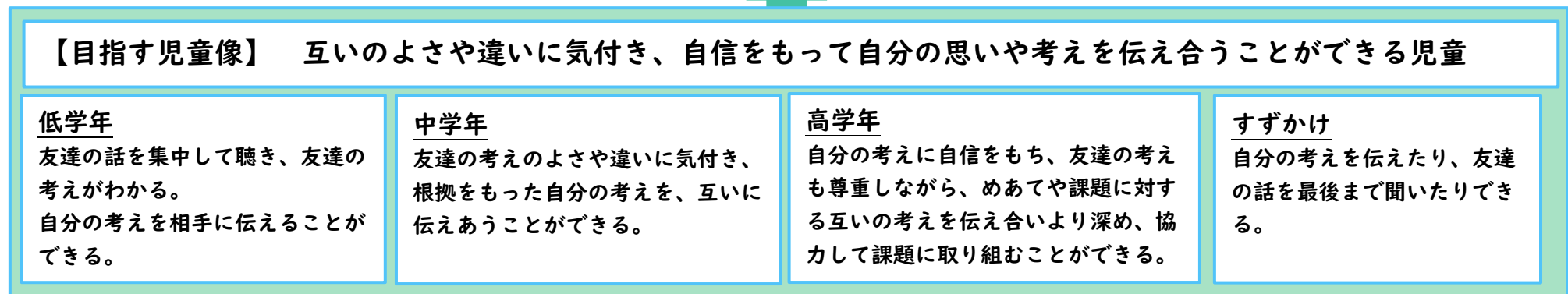


豊島区立要小学校

令和6年度 豊島区立要小学校 研究構想図

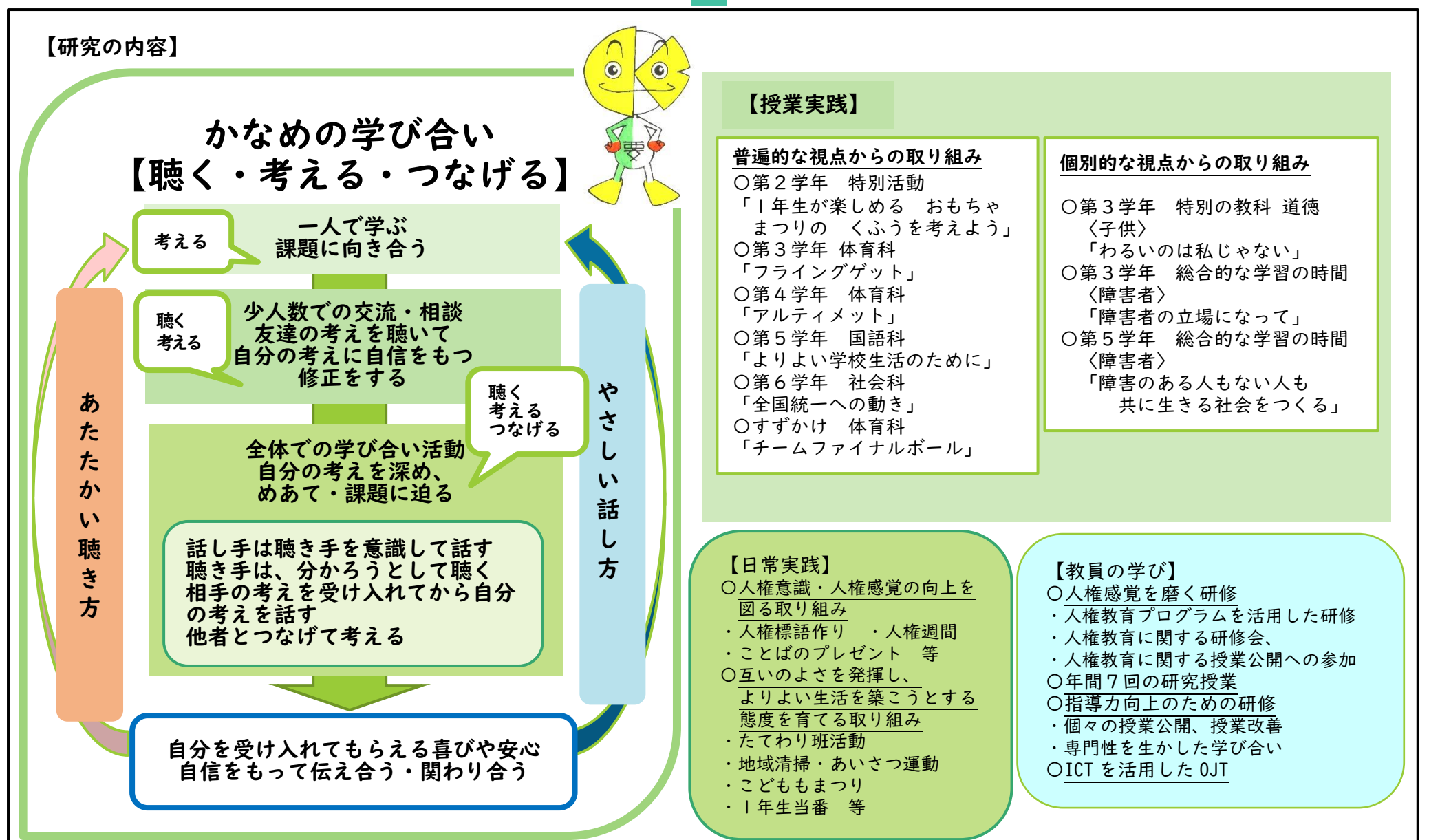


【研究主題】 自他を認め、関わり合うことができる児童の育成 ～学び合いを通して～



【研究仮説】

- ・ 互いの意見や考えを尊重することを意識した学び合いを通じた授業改善を行えば、互いのよさや違いに気づき、自信をもって自分の思いや願いを伝え合い、関わり合うことができる児童を育むことができるだろう。
- ・ 異学年間の交流や、特別支援学級(すずかけ)との交流及び共同学習など、多様な他者との学習活動・体験活動を工夫すれば、自他を認め合い、共によりよく生きようとする児童を育むことができるであろう。



普遍的な視点からの取組

第4学年 体育科 単元名 ゴール型ゲーム「アルティメット」

普遍的な視点からの取組
協力や公正の態度

本時の目標

チームのめあてを解決するための話し合い活動を通して、自分の考えを伝えたり、他者の考えの良いところに気づき、作戦に取り入れたりすることができる。



人権教育の視点

ゲームを振り返り、チームがよりよいプレーをするための話し合いを通して、自分の考えだけでなく、他者の考えのよさを認め、実際にゲーム等の活動に生かしていくなど、協力や公正の態度を養う。

第5学年 国語科 単元名 たがいの立場を明確にして話し合おう「よりよい学校生活のために」

普遍的な視点からの取組
伝え合う力、思考力や想像力

本時の目標

互いの立場を明確にしながらか計画に沿って話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。



人権教育の視点

誰もが安全安心な学校をつくるために、自分たちのできることやすべきことを考え、自分と友達の考えを比べて聴く話し合いを通して、共通点や差異点をもとに自分の考えを見直し、よりよい結論を導き出そうとする思考力や想像力を育む。

第6学年 社会科 単元名 戦国の世の中「全国統一への動き」

普遍的な視点からの取組
社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力

本時の目標

史実をもとに時代に見られる政策やそれによる影響を把握し、政策の功罪や課題について考えたことを話し合い、他者の考えを知ることによって、多面的に考えることができる。



人権教育の視点

秀吉が全国統一のために行った政策を知り、その詳細や影響を調べる活動を通して、検地や刀狩などの政策を行い、戦国の世が統一されたことを理解させる。

普遍的な視点からの取組

すずかけ 体育科

単元名 鬼遊びとボールゲーム「チームファイナルボール」

普遍的な視点からの取組
友達のよさを認める態度

本時の目標

簡単な作戦を考えて友達に伝え、チームの仲間と楽しくゲームに取り組むことができる。また、楽しかったことや感じたことを教師や友達に伝えることができる。



人権教育の視点

縦割りグループで、自他が頑張ったことや楽しかったことを伝え合う話合いを通して、互いに褒め合い、良かったところを認め合う態度を育てる。

第2学年 特別活動

題材名 学級活動(1)「1年生が楽しめる おもちゃまつりの くふうを考えよう」

普遍的な視点からの取組
合意形成を図ったり、意思決定したりする能力

本時のねらい

一人一人の思いや願いを意見として出し合い、互いの意見の違いや多様な考えを大切にしながら、学級としての考えや取り組むことについて合意形成することができる。



人権教育の視点

「やさしい話し方」「あたたかい聴き方」を意識した話合い活動を通して、自分の考えを表現し、集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、合意形成を図ったり、意思決定したりする力を育む。

第3学年 体育科

単元名 ゴール型ゲーム「フライングゲット」

普遍的な視点からの取組
協力や公正の態度

本時の目標

チームの動きを見て、良いところや気付いたことを共有し、チーム・仲間のために責任をもって取り組み、チームの一員として、互いに支え合う意識をもつことができる。



人権教育の視点

試合間で行われる話合いタイムで、チームのめあてについてよかったところを認め合い、価値付ける活動を通して、さらにチームの力を高めるために、自分ができることを実践していこうとする協力や公正の態度を育てる。

個別的な視点からの取組

第3学年 特別の教科 道徳

教材名 「わるいのは私じゃない。」内容項目「公正、公平、社会正義」

個別的な視点からの取組
人権課題「子供」

本時のねらい

友達との関わりの中で、いじめに加担してしまう主人公の気持ちを考える活動を通し、自分だったらどのように行動するか、友達の発言を聞いて自らの考えを振り返り、正しい判断ができる。



人権教育の視点

いじめは、絶対に許されない人権侵害であることを理解させることを通して、児童一人一人が互いの人権を尊重し、いじめをしない、許さないという意識を高めようとする態度を育てる。

第3学年 総合的な学習の時間

単元名 「障害者の立場になって」～車いす体験から～

個別的な視点からの取組
人権課題「障害者」

本時の目標

自分たちの住む地域で車いすに乗ったり、操作したりする体験を通して、車いすを利用する人の気持ちや不便さを実感し、地域のバリアフリーの取組の必要性や実践できることを考えることができる。



人権教育の視点

車いすを利用している方との交流や車いすを利用する立場を経験することを通して、障害者の生活について理解を深め、何気なく生活している中にも心のバリアがあることを知り、障害者が感じている偏見や差別を解消するために心のバリアフリーについて自分ができることを考えて行動しようとする態度を育てる。

第5学年 総合的な学習の時間

単元名 障害のある人もない人も共に生きる社会をつくる

個別的な視点からの取組
人権課題「障害者」

本時の目標

障害者との交流や調べ学習を通して、障害のある方の生活や思いに気付き、共生社会の実現のために自分にできることを考え、生活に生かすことができる。



人権教育の視点

障害のある方の生活を学び、障害者との交流を通して、社会には障害者に対する偏見や差別があることを理解するとともに、共生社会の実現に向け、互いに支え合って生活しようとする意欲や態度を育てる。

本校におけるその他の取組

縦割り班活動

月に1、2回設定されている異学年交流を通して、集団の中で、協力することの大切さを理解する。また、上学年の児童が、下学年の子を思いやる行動や優しい声掛けをする姿を見せることで、下学年の児童が他者との接し方を学ぶ機会とし、互いに思いやることができる態度を育む。



あいさつ運動

年間を通して、全学年の児童が当番制のあいさつ運動を実施する。あいさつ運動を通して、人と人が関わり、学級以外の友達や教職員、地域の方とのつながりをもつきっかけの一つとする。また、あいさつを通して、誰にでも礼儀をもって接することの大切さを学び、実践する態度を育む。



人権標語

人権週間に、各学年、学級の実態や発達の段階に応じた人権教育や関連する学習を実施し、学んだことや自分の考えを標語に表し、全校児童の作品を校内掲示した。他者の考えや学びに触れ、人権の意義や重要性を理解し、より一層、自分を大切に、他者を尊重しようとする意識を高める。



要子ども祭り

学級での子供たちの思いを実現するために、実施内容や準備計画を決める話し合い活動を通して、自他の考えのよいところを取り入れ、協力することのよさを味わう。また、自分の役割をもち、友達と協力してやり遂げることのよさや達成感を味わい、他者を尊重する態度を育む。



地域清掃

近隣の中学校、地域の方、育成委員会の方と学校の周りを清掃する。地域の方々と協力して自分たちの住む地域を清掃することで、地域の方とのつながりをもち、地域の一員としての自覚を深めるとともに、地域やみんなのために役に立つことの充実感を味わい、勤労・奉仕の態度を育む。



1年生当番

6年生が入学したばかりの1年生のお世話をする。1年生は、6年生の優しさや頼もしさに触れ、また、6年生は、最高学年としての自覚をもつとともに、1年生のために役立ち、頼られる経験を通して、互いに他者を受け入れ、他者を尊重し、思いやる態度を育む。



個別的な視点からの取組

第3学年 特別の教科 道徳

教材名 「わるいのは私じゃない。」内容項目「公正、公平、社会正義」

個別的な視点からの取組
人権課題「子供」

本時のねらい

友達との関わりの中で、いじめに加担してしまう主人公の気持ちを考える活動を通し、自分だったらどのように行動するか、友達の発言を聞いて自らの考えを振り返り、正しい判断ができる。



人権教育の視点

いじめは、絶対に許されない人権侵害であることを理解させることを通して、児童一人一人が互いの人権を尊重し、いじめをしない、許さないという意識を高めようとする態度を育てる。

第3学年 総合的な学習の時間

単元名 「障害者の立場になって」～車いす体験から～

個別的な視点からの取組
人権課題「障害者」

本時の目標

自分たちの住む地域で車いすに乗ったり、操作したりする体験を通して、車いすを利用する人の気持ちや不便さを実感し、地域のバリアフリーの取組の必要性や実践できることを考えることができる。



人権教育の視点

車いすを利用している方との交流や車いすを利用する立場を経験することを通して、障害者の生活について理解を深め、何気なく生活している中にも心のバリアがあることを知り、障害者が感じている偏見や差別を解消するために心のバリアフリーについて自分ができることを考えて行動しようとする態度を育てる。

第5学年 総合的な学習の時間

単元名 障害のある人もない人も共に生きる社会をつくる

個別的な視点からの取組
人権課題「障害者」

本時の目標

障害者との交流や調べ学習を通して、障害のある方の生活や思いに気付き、共生社会の実現のために自分にできることを考え、生活に生かすことができる。



人権教育の視点

障害のある方の生活を学び、障害者との交流を通して、社会には障害者に対する偏見や差別があることを理解するとともに、共生社会の実現に向け、互いに支え合って生活しようとする意欲や態度を育てる。

御指導をいただいた先生方

東京都小学校国語教育研究会顧問

元早稲田大学教職大学院客員教授 元開智国際大学教育学部准教授 遠藤 真司 先生

中野区立南台小学校 指導教諭 安藤 亨 先生

西東京市立東伏見小学校 主幹教諭 岩森 一弥 先生

東京都教職員研修センター企画部企画課 指導主事 小林 正士 先生

足立区立千寿第八小学校 主任教諭 大野 和代 先生

携わった教職員

校長	渡部 貴美子	副校長	外山 俊吾	1年1組	小磯 圭子
2年1組	○下田 久仁江	2年2組	永堀 美保	3年1組	○森下 知子
3年2組	坂田 次郎	4年1組	◎岡崎 尚志	4年2組	角田 優太
5年1組	大島 千佳子	5年2組	板倉 寛大	6年1組	佐藤 美保子
6年2組	五十嵐 純平	すずかけ	○渋谷 可奈子	すずかけ	原 朋子
すずかけ	上遠野 翠	すずかけ	鶴山 茂雄	音楽	○小林 真貴子
図工	岩崎 花菜子	養護	竹内 千紘	事務	北 美織
栄養士	青木 麻実	専門員	松並 富美江	時間講師	片山 香
時間講師	西村 輝雄	時間講師	高山 ひふみ	時間講師	向野 久美子
時間講師	三浦 好美	時間講師	黒崎 明	時間講師	戎子 和樹
時間講師	長 純音	時間講師	廣江 京子	指導員	石田 知子
補助員	菊池 富美子	補助員	小村方 正	◎研究主任	○研究推進委員

終わりに

副校長 外山 俊吾

本校では今年度、令和6年・7年度東京都教育委員会人権尊重教育推進校、豊島区教育委員会研究開発指定校の1年目として、「自他を認め、関わり合うことができる児童の育成～学び合いを通して～」をテーマに研究を進めてきました。児童の人権意識を高め、よりよい人間関係を築くための力を育むためには、児童が日常的に「学び合い」を経験することで、自他の考えを尊重し、互いの良さを認め合う児童を育成することができるのではないか、と仮定して研究をスタートさせました。

児童が「やさしい話し方」「あたたかい聴き方」を身に付け、自分の考えを表現し、他者の考えを聴いて考えを深め、それらをつないでよりよい結論を導き出す。そのような経験を繰り返すことで、児童が他者と学ぶことのよさを味わい、さらには、他者の存在そのもののよさを実感することにつながると考え、研究を進めています。そのために、教職員は、学び合いのグループ構成や深い学びに導く話型、学び合いの際の役割分担等を工夫し、児童の成長段階に応じた工夫を日常の授業で行ってきました。

この1年間、本校の教職員は、「学び合い」のある授業を実現し、児童のよりよい成長を促すために、試行錯誤を繰り返しながら授業改善に励みました。その歩みを振り返るとともに、その成果と課題を確認し、これからの授業改善に役立てるために、本リーフレットを作成いたしました。御多用のところとは存じますが、御高覧いただき御指導をいただけると幸いです。

最後に、本校児童に寄り添い、具体的な御指導、御助言を賜り、本研究を導いてくださいました、講師の先生方をはじめ、東京都教育委員会、豊島区教育委員会、御支援・御協力をいただきました多くの皆様に心より感謝し、厚く御礼を申し上げます。

豊島区立要小学校

〒171-0043 豊島区要町2丁目3号20番

TEL 03-2956-8151 FAX 03-3959-9602

